

くすりとからだ ~ジェネリック医薬品について~



2024年春号



すっかり春らしくなりましたね。こんにちは。市立御前崎総合病院薬剤科です。新年度が始まりました。気持ちを新たに頑張りましょう！

薬局へ行くと「ジェネリック」という言葉をよく見かけますよね。ジェネリックと聞くと安価なお薬というイメージがあるかもしれませんが、実は他にも患者さんにとって良いことがたくさんあります。

今回はジェネリック医薬品についてお話しします。

ジェネリック医薬品ってなに？

ジェネリック医薬品は新薬（先発品）と「同じ有効成分」が「同じ量」だけ含まれた「先発品と同等の効果」があるお薬です。添加物は先発品とは異なるものが使用される場合がありますが、有効性や安全性、品質について国の厳格な審査を受け製造販売されています。

どんな工夫がされているの？

ジェネリック医薬品では先発品開発時にはなかった、より新しい製剤技術が導入されているという点で先発品とは異なります。

1. 錠剤の大きさを小さくして飲みやすくする。
2. コーティングを施し苦味をなくす。
3. 錠剤に名前を記入し飲み間違いをなくす。
4. 水なしで飲めるOD錠（口腔内崩壊錠）にする。
5. カプセルから錠剤に変更するなど、剤形を変更する。
6. 指の力が弱くても錠剤を取り出せるようなパッケージにする。



等々お薬の種類によってさまざまな工夫が施されています。

オーソライズド・ジェネリック

「オーソライズド・ジェネリック」という言葉をご存じでしょうか？

医薬品のうち、新薬メーカーから許諾を得て製造された、有効成分や添加物、製法等が先発品と全く同じジェネリック医薬品や、特許使用の許可を得て優先的に先行して販売できるジェネリック医薬品のことをオーソライズド・ジェネリックといいます。

ただし、すべてのジェネリック医薬品にオーソライズド・ジェネリックがあるわけではありません。